

# 森の川自然散歩

2020年3月号

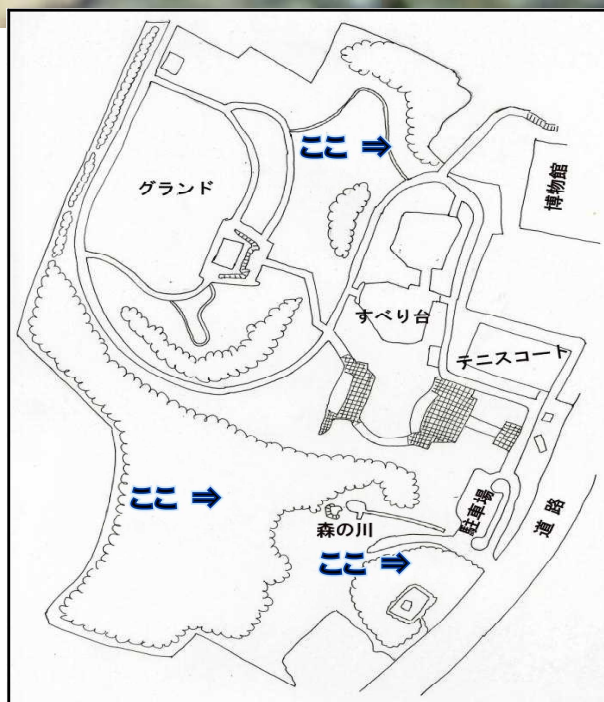


暖かくなってきた夜には

上：モクマオウの道の石段の上を、ゆっくりと歩くヘリグロヒメトカゲ。

## ヘリグロヒメトカゲ (メモ) ▶▶▶

- 体の大きさは4～6cmくらいで、尻尾を含めると9～11cmくらいの小形のトカゲです。全身が茶色をしていて、手足が短いのが特徴です。
- 森川公園では、モクマオウのトンネル道やウガンヌカタの後ろの森、森川之塔の森などで見られます。
- 普段は、落ち葉の中に隠れているので、昼間に見つけることは難しいです。でも、落ち葉を踏んで歩いていると、ときどきびっくりしたように跳びだしてくることもあります。
- だんだん暖かくなるにつれて、夜の公園を散歩すると、出会えることもあるかもね。



# 森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

## (36) すごいぞ！森川公園の森



上:森川公園の入口。宜野湾の豊かな自然の入口でもあります。

宜野湾市内の動物や植物を調べた、宜野湾市史第9巻(資料編8)自然によると、森川公園には247種類の動物がいることが分かっています。その内訳は、哺乳類2種類、鳥類20種類、両生爬虫類7種類、昆虫類186種類、クモ類32種類です。森川公園では、夜の調査があまり行われていないので、夜の調査を行うと、種類数はもう少し増えるかもしれません。

こうした森川公園の自然の豊かさは、公園北側のウガンヌカタから大山貝塚、そして喜友名にいたる崖地の森の存在が関係していると思われます。やっぱり、森川公園はすごいですね。

## 森川公園3月の花ごよみ

### ～ ホルトノキ ～

- 高さ20mにもなる常緑の高木で、本州の関東地方から宮古、八重山諸島まで生えている樹木です。森川公園ではウガンヌカタの前の広場にあり、初夏に枝先に小さな花を咲かせます。
- 低地から山地まで自生しますが、沖縄島では畑や田んぼの周辺にも多く植えられています。これはホルトノキの小枝や葉っぱが緑肥としても利用されるからです。このため、方言でも「タラサー」、「ターウルサーギー」などと呼ばれます。これは田を潤すという意味からきています。



上:ウガンヌカタの広場でクリーム色の花を咲かせたホルトノキ。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、  
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。  
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1  
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

